

令和3・4年度

## 仙台市立大沢中学校

### 地域と連携したいじめ防止等に関する取組

令和3・4年度仙台市地域ぐるみ生活指導連絡協議会スローガンは、『児童生徒の社会的自立を支援する地域づくり～いじめや不登校の未然防止に向けた連携・協働を通して～』である。このスローガンを受け、本校の研究主題は『生徒の心を育む地域づくり～再出発の連携・協働を通して～』と設定した。

令和3年度の取組について

#### ① 巡視活動

##### ・小中連携校区街頭指導

令和2年度新型コロナウイルスの影響で全て中止となった小中連携での校区街頭指導を再開させた。令和3年度に関しては川前小、大沢小、大沢中の教員が各校2名程度ずつ集まり、2ルートに分かれて校区の公園や店舗を回るという規模の小さい活動であった。これからはまた徐々に輪を広げ、地域の民生委員や保護者の方々を巻き込んで規模を拡大していきたい。また、地域の夏祭りなどのイベントが中止されたことで、年間5回程度の実施となったが、回数を増やすことで多くの教員や地域の方々に協力していただける活動にしていきたい。

なお、巡視活動の前には生徒指導情報交換を実施しており、各校の生徒指導上の課題や地域の問題の共有をすることができた。

#### ② 挨拶運動

##### ・小中合同挨拶運動(令和3年5月)

5月に小中が連携しての挨拶運動を実施した。生徒会執行部が中心となって計画し、部活動単位で川前小、大沢小へ訪問して挨拶を行った。各小学校からも有志の児童が集まり、活気のある挨拶を行った。  
※9月も予定していたが、中止となった。



\* 大沢小前での合同挨拶運動の様子



\* 川前小前での合同挨拶運動の様子

##### ・交通安全街頭指導(毎月)

教員が月に一度程度分担を決め、生徒の登校時間に合わせて登校指導や挨拶活動を行った。令和3年度は新型コロナウイルスの影響で保護者と連携することはできなかったが、来年度以降は健全育成委員などに協力を依頼し、教員と保護者での登校見守りができるようにしていきたい。

#### ③ 携帯電話安全教室

仙台北警察署生活安全課とKDDIに御協力いただき、携帯電話安全教室を行った。今年度はパソコン室からの Google Meet で各クラスに配信を行い、体育館に入ることなく全校生徒が講話を受けることができた。音声や映像もスムーズに配信することができたので、新たな形式として可能性を感じる講話となった。内容

はスマホの使い方に関する具体的なエピソードアニメを観て考えさせるというものであった。人間関係が崩れる様子や犯罪に巻き込まれる様子は生徒が身近に感じられるもので、多くの生徒がスマホの使い方を見直すきっかけとなった。2月には保護者を対象とした携帯電話安全教室を行った。

#### ④ 交通安全教室(令和3年9月15日)

仙台北警察署交通課に御協力いただき、交通安全教室を行った。Google Meet による講話とDVD鑑賞という形で実施し、全校生徒が講話に参加することができた。交通ルールの確認や中学生に多い事故、交通ルール違反を学ぶことができ、生徒からは「標識安全確認の大切さを改めて知ることができた」「スマホを見ながらの自転車運転は危険なので、自転車事故の怖さを知って、少しでも事故が減るとよい」などの感想が聞かれた。

携帯電話安全教室や交通安全教室についても、地域の方を巻き込んで在り方を検討したい。



\*講話をパソコン室で聞く生徒の様子



\*講話を配信で聞く生徒の様子

#### ⑤ 健全育成標語コンクール(令和3年9月)

例年、小中及び地域から健全育成標語とポスターを募集し、各部門に分けて表彰を行っていた。しかし令和2年度は新型コロナウイルスの影響で健全育成

標語とポスターのコンクールを実施しなかった。令和3年度は規模を縮小して再開し、各小学校5～6年生児童と中学生から標語募集を行い、各校10点程度に厳選したのから最優秀賞1点、優秀賞2点、それ以外を佳作として表彰を行った。最優秀賞・優秀賞の3作品については、のぼり旗にして各校に配付し、掲示した。

#### ◎ 最優秀賞

「ありがとう」みんなをつなぐ「あい」言葉  
大沢中 2年

#### ○ 優秀賞

いっだって 地域の人 は 味方だよ  
大沢小 6年

#### ○ 優秀賞

助けられ 見守られながら 生きている  
ぼくらの笑顔を守る人々 川前小 6年  
今年度は以上の3点が選ばれた。

今後は規模を拡大し、また以前と同様に地域や小学校全学年を対象に行き、校区全体で防犯・安全の意識を高めていきたいと考える。

#### ⑥ 中学校区防犯安全マップの作成・配付

地域の情報を集め、3年ごとに更新しながら防犯安全マップを作成している。年度初めに小学校1、4年生及び中学校1年生の児童生徒に配付し、地域の危険箇所や子ども110番の家、野生動物の出現場所などを確認し、安全に対する意識を高められるようにしている。



#### ⑦ いじめ防止きずなアクション(令和3年12月)

いじめ防止きずなアクションは、仙台市の児童生徒全員で、いじめをしない・させない・許さないという意

識を高めるために行う活動である。本校では「笑顔あふれる学校は沢中 week から」をテーマに、期間(1週間)を決め、何かをしてもらった際に「ありがとう」、すれ違った際に挨拶を普段より意識して行うこととした。帰りの会で振り返りながら実施したことで、意識的に挨拶をしたり、ありがとうと言ったりする生徒が増えた。

#### ⑧ ハートフルプロジェクト

各委員会でコロナ禍でも周囲(学校全体)が新しい生活様式の中で快適に過ごせるように考えたり、意識を高めて行動したりしていけるように目標を立てた。以下は各委員会の例である。

##### ○ 給食委員会

「安心して食べられるよう、消毒などを徹底する」

##### ○ 視聴覚委員会

「心が温まるような放送をする」

##### ○ 生活委員会

「自分から笑顔で心が温まるあいさつをし、人と人とのきずなを深めよう」

##### ○ 保健委員会

「守ろう新生活習慣。検温の徹底・距離を保ち、衛生的な生活の呼び掛け・換気」

##### ○ 環境委員会

「美化活動の声掛け、節約強化、きれいな状態を保つ」

#### ⑨ 大沢児童館ボランティア(令和3年8月7日)

生徒会執行部が児童館で小学生、地域の方々や児童館職員と一緒にゲームをするなどの活動を通して交流を深めた。



\* 交流の様子

### 3 令和4年度の取組について

#### ① メディアコントロール・デー(毎月11日実施)

##### メディアコントロール・デー概要

- ・月に1度設定し、メディアの使い方を保護者の協力のもと考える一日とする。
  - ・児童生徒合同会議(大沢中学生・川前小児童・大沢小児童)によって決定した「大沢中学区 SNS 利用三箇条」を各月のテーマとして取り組んだ。
- 「大沢中学区 SNS 利用三箇条」
- 使用している時間を決めよう
  - 相手を傷つけない言葉を選ぼう
  - スマホ(メディア)より友達や家族を大切にしよう
- ・保護者と児童生徒に Google フォームを使った事後アンケートを実施した。

近年形骸化されていたメディアコントロール・デーの目的と意義を再確認し、児童生徒の意見も取り入れながら活動に取り組んだ。形骸化されてしまった原因として、「広報活動」の少なさが挙げられたので、今年度は各小学校と児童生徒への事前指導、保護者へ配信メール等を利用して事前周知を行い、積極的な実施を図った。また事後のアンケートで振り返りを行った。SNS の利用方法について仙台市標準学力・生活状況検査の時の結果よりも「ふだん(月曜から金曜日)、勉強以外で1日当たりどれくらいの時間、インターネット接続ができる機器(スマホ、タブレット、音楽プレイヤー、ゲーム機など)を使っていますか。(2時間以上)」、「ふだん(月曜から金曜日)、勉強以外で、1日当たりどれくらいの時間、インターネット動画を見ていますか。(2時間以上)」、「携帯電話・スマホなどの使い方について、家の人と約束したことを守ってい



る。」「LINE などの通信アプリを1日どのくらい使っていますか。」の項目で高い数値を示すようになり、SNSの利用に改善が見られた。

#### ② 小中合同挨拶運動(令和4年6月,10月)

令和4年度の小中合同挨拶運動は、5月に2回、10月に3回の計5回実施した。事前に挨拶運動ボランティアを募集し、川前小と大沢小に訪問し、小学校の有志児童と一緒に元気な声で挨拶を行った。自ら選択してボランティアに参加する形を取ったことで、昨年度よりも主体性を持った活気のある挨拶運動になった。

#### ③ 健全育成標語コンクール(令和4年9月13日)

令和4年度も、健全育成標語コンクールを実施した。今年度は、多くの児童生徒が地域の健全育成について考えるきっかけとなるように募集対象と表彰作品数を増加した。各小中学校全校生徒からの作品の募集、小学校低学年の部、小学校高学年の部、中学校の部で、それぞれ最優秀賞1点、優秀賞2点の計9点の表彰を行った。表彰作品は、小中学校にのぼり旗を設置する予定であり、合わせて作品が印刷されたクリアファイルを配付予定である。小中学校全学年で行ったことから昨年度よりも防犯・安全の意識を高めることができた。

#### ④ 地域クリーン作戦(令和4年10月21日)

10月にクリーンデーを設定し、ごみ拾いをしながら登校する活動日を設定した。生徒一人一人がビニール袋にごみを拾いながら登校した。拾ってこれなかった生徒もいたが、ビニール袋は持参していて、「もうゴミはなかったです」とクリーン作戦の成果を実感している生徒もいた。当日は中学校会場ではポリバケツ二つがいっぱいになるほどの多くのごみが集められ、地域に貢献する意識を高められた。



\* 昇降口での様子

#### ⑤ 大沢児童館まつりボランティア (令和4年11月19日)

大沢児童館まつりのボランティアを募集し、有志生徒で活動した。遊びコーナーの手伝いと缶バッジ作成に分かれ、来館した子どもたちと楽しく交流することができた。ボランティアに参加した生徒のアンケートからは、「子どもたちの楽しそうな顔を見て、自分も嬉しい気持ちになった。」「また機会があれば参加したい。」「自分がお世話になった児童館に恩返しできて良かった。」等の感想が見られ、交流を通して充実感や自己有用感の高まりが感じられた。



\* 交流の様子

#### ⑥ 地域ぐるみ教育講演会(令和4年12月22日)

中学校区の中学生、保護者、地域住民を対象に、「肯定的な言葉」を意識して使うことでより良い人間関係を構築することを目的とした教育講演会を開催した。講師に、一般財団法人「日本ペップトーク普及協会」代表理事の岩崎由純氏をお招きし、「心に響くコミ

コミュニケーション～やる気を引き出す魔法の言葉～」をテーマに講話をいただいた。情熱とユーモアたっぷりの講演に皆が引き込まれ、肯定語の持つ影響力の大きさを実感し、肯定語の変換の仕方を具体的に学ぶことができた。講演会後のアンケートでは、自分の今までの言葉遣いを振り返り、より良くコミュニケーションを取っていきたいという感想が多く見られ、自分たちが普段発する言葉を意識して変えていく良い機会にすることができた。

#### ⑦いじめ防止きずなアクション(令和4年12月)

本年度も「笑顔あふれる学校は沢中 week から」をテーマに、10の付く日(ありがとう)に、感謝の言葉や、周囲の人のために行動することを意識した活動を行った。また、いじめ防止スローガンを作成し、校舎に掲示をした。

#### 4 今後について

地域の住民の方々の日頃からの厚い学校の教育活動への御理解と御協力、そしてあたたかく地域を見守ることに感謝をし、今後も地域連携を深めたい。

今後も、実施の目的や結果等を更に周知することで、学校・生徒・地域・保護者の方々が一体となり、安全でのびのびと児童生徒が心を育ていけるような教育活動を行えるようにしたい。